



高砂青松 Rotary Club

The Rotary Club of Takasago Seisho, Japan

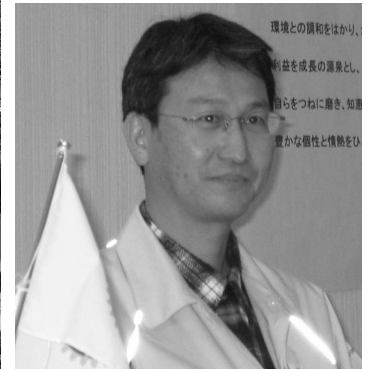


【職業奉仕委員会担当】

電源開発(株)高砂火力発電所にて「職場例会」



日時：2009年3月18日
於：電源開発(株)
高砂火力発電所



本誌は、職場や家庭に持ち帰って、皆さんで一緒に読み下さい。



鹿間岨美会員ご子息がご結婚されましたので会長よりお祝を渡して頂いた。



President **会長の時間**

(3月18日分)



電源開発株式会社高砂火力発電所の埋田所長様を始め、当火力発電所の皆様のご好意によりまして、本日、職場例会を開かせて頂くこととなりました。大変お世話になります。よろしくお願い申し上げます。

日頃、私達は、電気をまるで空気のように当然ある物として利用しています。しかしながら、電気が私達のもとに届くまでの、複雑且つ長い経路には、目に見えにくいご苦労も多いのではないかと思います。本日は、電気の仕組みについて、しっかりと勉強させて頂きたいと思っております。

電源開発株式会社高砂火力発電所の皆様のご好意に感謝申し上げますと共に、本日の職場例会を計画して頂いた職業奉仕委員会の皆様のご尽力に感謝致しまして、会長の時間に代えさせていただきます。

電源開発株式会社高砂火力発電所の皆様のご好意に感謝申し上げますと共に、本日の職場例会を計画して頂いた職業奉仕委員会の皆様のご尽力に感謝致しまして、会長の時間に代えさせていただきます。



Donation **ニコニコ報告**

(3月18日分)

鹿間 行雄

J POWERの皆様、本日はお世話になります。よろしくお願い申し上げます。

増田耕太郎

電源開発様、本日は大変お世話になります。

**田水 敬雄・竹原 俊三・中右 和宏
濱中 幹雄・辻田 重恵・小西 文孝
田中 浩行・岡本 崇司・植杉成一郎
佐野 栄作・嶋谷 拓雄**

本日は高砂火力発電所での職場例会、大変Nお世話になります。

菱田 克己

花を飾りましょう。



Secretary **幹事報告**

(3月18日分)

第30回 通算1394回

1. 回覧その他

2680地区ローターアクトよりチャリティーバザー御協力のお礼が届いております。

高砂R.C.・高砂青松R.C.合同例会

ミュージカルナンバーを楽しむ

声楽家 河野 仁美 様



ピアニスト 濱谷直子 さん

講師 河野 仁美(こうの ひとみ)

演題 「ミュージカルナンバーを楽しむ」

I ミュージカルナンバー

- | | |
|--------------|---------------------------|
| おどりあかそう | ~ミュージカル「マイ・フェア・レディー」より |
| エーデルワイス | ~ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」より |
| Think of Me | ~ミュージカル「オペラ座の怪人」より |
| メモリー | ~ミュージカル「CATS」より |
| Ombra mai fu | ~オペラ「Serse」より |

II 皆様と歌いましょう

千の風になって

河野 仁美 声楽家 Soprano

大阪教育大学を経て、同大学院音楽科声楽専攻修了。

大学院在学中より高等学校にて音楽科講師を務める。

関西二期会研究生としてオペラを学びつつ、クラシックのコンサートに多数出演した。

'97 劇団四季「45周年記念オーディション」に合格。

ミュージカル「エビータ」「オペラ座の怪人」「ライオンキング」など多くに出演。

'01よりフリーとなりクラシックからポップスまで様々なジャンルの舞台に出演している。

高砂においてはムーシケー・タカサゴ オペラ「ヘンゼルとグレーテル」グレーテル役で出演したほか、クリスマスコンサート等、多くの舞台に立っている。

また、主宰する「ヒトミスタジオ」のメンバーと共に高砂市内の高齢者施設にてボランティアコンサートを開催している。

現在、大阪教育大学音楽科 非常勤講師。

劇団四季公認ミュージカル養成スタジオ「ダンスオブハーツ」講師。

高砂市高齢者大学 松陽学園 講師。

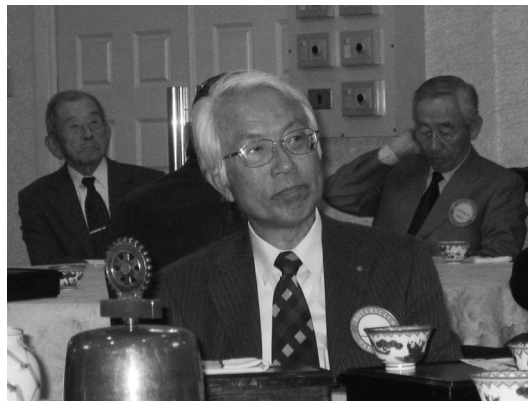
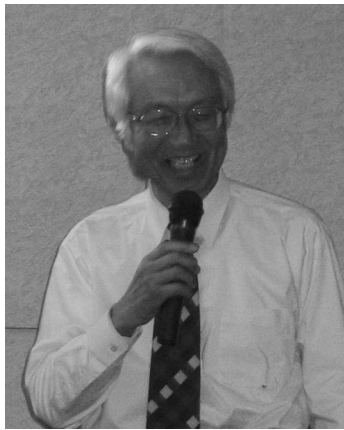
高砂音楽家協会 理事。

・司会 高砂青松R.C. 竹原会員

全体風景



・高砂ロータリークラブ 坂牛会長より謝辞



例会記録 2009. 3. 11 (水) 通算1471回

ソング 「我等の生業」「歓迎歌」

来訪ロータリー 室田 隆重 様 (姫路中央R.C.)
アン報告

本日のゲスト 声楽家 河野 仁美 様

出席報告 2月25日 会員数 52名 欠席者 9名 出席率 80.00% <修正による>
(この内出席免除者10名)
3月11日 会員数 52名 欠席者 15名 出席率 66.67%
(この内出席免除者10名)

プログラム予定

3月25日(水)	4月1日(水)	4月8日(水)	4月17日(金)
卓話 佐野栄作 会員	卓話 菱田克己 会員	観桜例会 PM12:30~ 於:高砂市総合運動公園 テニスコート付近 【親睦委員会担当】	高砂R.C.との 合同献血例会 於:サンモール高砂 南駐車場 【社会奉仕委員会担当】



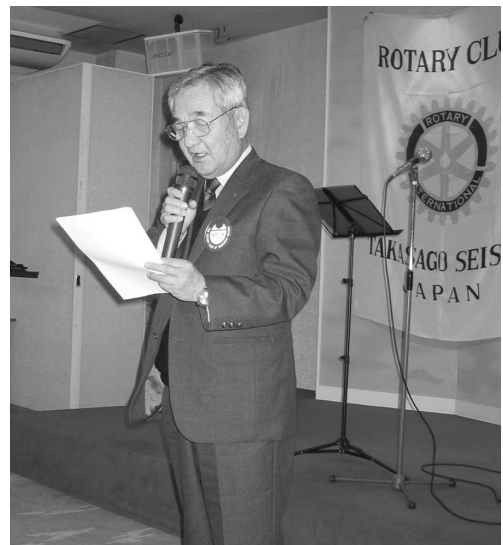
President

会長の時間

(3月11日分)

3月7日・8日の2日間にわたって、R.I.第2680地区の地区大会が神戸ポートピアホテルで開催されました。本日は、その地区大会の報告をさせていただきます。

3月7日15時30分に会長・幹事会が開会となりました。各種セレモニーに続いて、辛澤泳(シン・テック ヨン) R.I.会長代理によるR.I.現況報告、タイ3340地区から当2680地区に派遣されているGSEの報告が行われました。ここまで



は、翌8日の大会本会議の内容と重複している部分が多かったように思います。

次いで、地区委員会報告として、クラブ奉仕委員会を始めとして9つの地区委員会から順次本年度の活動状況の報告がありました。

最後に、昨年度の地区財務長から2007～2008年度の地区資金決算の報告・審議及び承認がありました。第2680地区の一般会計規模は、約8,000万円、一般会計の外に12の特別会計がありますが、2008年6月末日における一般会計及び全ての特別会計の合計繰越金は、約3,570万円となっています。

二日日本会議の午後のプログラムにおいて、高砂クラブの植杉安夫会員の55年間100%連続出席という偉業に対する表彰が行われました。植杉会員の素晴らしい偉業に敬意を表すと共に、今後共お元気で私達を導いて頂きますようお願い致します。

各種表彰・報告・決議案採択の後、「日本のこれから、日本人のこれから」と題して、「国家の品格」の著者である藤原正彦氏の記念講演がありました。日本経済の生命線である物作りには、美的感受性が大きな役割を果たすこと、又、日本人の心の荒廃を食い止め、美しい心を育てて行くには、「惻隠の情」が大事であること、また、「惻隠」という言葉は21世紀のキーワードであると強調されました。

私にとって、「惻隠」という言葉は初耳でした。帰宅してから辞書を引いてみました。孟子の教えに出てくる言葉で、四端の一つということでした。他人の痛みがわかる心とでも理解すればよろしいかと思いました。

記念講演の後、中村ガバナーエレクトをコーディネーターとし、4名のロータリアンをパネリストとしたフォーラムが開催されました。「ロータリーのこれから」というテーマで熱のこもったフォーラムが行われました。

本大会終了後、出席者全員による懇親会が和気藹々で行われました。そこでは、思わぬ人との再会もあり、楽しい一時を過ごすことができました。

以上で地区大会のご報告とさせていただきます。

ところで、本日は声楽家の河野仁美様にお越し頂いています。音楽は、私達の心を和ましてくれると共に、私達の感受性を高めてくれる最高の贈り物だと思います。ミュージカルに浸る一時を楽しんで下さい。会長の時間を終わります。



Donation **ニコニコ報告**

(3月11日分)

高砂R.C. 坂牛 八州・守光 隆

高砂青松R.C.の皆様，本日はお世話になります。

植杉 安夫

地区大会で出席55年の表彰を頂き貴クラブの皆様方から祝福の言葉を頂戴し，ありがとうございました。

青木 裕加・伊藤 勝之・井野 隆弘
 植杉成一郎・内海 薫・大森 千里
 菊地 敬子・京谷 慎平・小西 文孝
 竹原 俊三・田中 伸明・田水 敬雄
 都倉 達殊・中右 和宏・中谷 利幸
 西中 亮二・ 田 喜重・廣瀬 明正
 藤本 明久・増田耕太郎・松尾 毅
 森脇 祥文・矢野 聡

合同例会を祝して。



Secretary **幹事報告**

(3月11日分)

第29回 通算1393回

1. 回覧その他

2680地区クラブ奉仕委員会より会員のためのイエローカード「入会間もない会員のための“6つの目標”」が届いております。

2680地区の新世代委員会より第30回RYLAセミナー記録誌が届いております。

相生ロータリークラブより週報が届いております。

日赤より献血情報が届いております。



Neighbor-club information **近隣クラブINFORMATION**

クラブ名	変更内容	日時・場所
明石ロータリークラブ	春季親睦例会のため	4/1(水)
〃	休会(定款第6条第1節cによる)	4/8(水)
加古川中央ロータリークラブ	休会(定款第6条第1節cによる)	3/26(木)
〃	移動例会観桜家族例会のため	4/9(木)
明石西ロータリークラブ	職場例会のため移動例会	4/9(木) 4/11(土)
〃	休会(定款第6条第1節cによる)	4/30(木)

例会記録 2009. 3. 18 (水) 通算1472回

ソング

「奉仕の理想」

来訪ロータリ アン報告

松岡和治様(姫路南R.C.)	坂元宣之様(姫路南R.C.)
桂田重信様(高砂R.C.)	西川敏彦様(高砂R.C.)
片嶋純雄様(高砂R.C.)	中野哲郎様(高砂R.C.)
尾上喜秀様(高砂R.C.)	信原智彦様(高砂R.C.)

出席報告

3月4日 会員数 52名 欠席者 9名 出席率 80.00% <修正による>
(この内出席免除者10名)
3月18日 会員数 52名 欠席者 22名 出席率 52.17%
(この内出席免除者10名)

播磨ゆかりの偉人伝 ③

沙弥 教信 (しゃみ・きょうしん) 庶民仏教の普及に力注ぐ



加古川市野口町に「教信寺」という天台宗の寺院がある。春には満開の桜の花が境内を彩って参拝客を迎えることで有名。平安時代初期、庶民仏教の普及に努めた沙弥(しゃみ)教信ゆかりの寺である。沙弥とは妻帯して世俗の生活をしている僧のこと。

教信の生誕についてはっきりした記述はない。

天応元(781)年、奈良か京都で生まれたといわれている。

奈良・興福寺にいた教信が諸国巡錫(じゅんしゃく)に旅立ったのは19歳の時。「貴族しか救えない仏教とは何なのか」、「庶民こそ仏の救いが必要ではないのか」。そんな空虚な気持ちが興福寺を去る決断をさせた。

文字を読めない庶民を救うにはどうすればいいか。「南無阿弥陀仏」を唱えることがその答えだと結論付け、その信念

を終始貫き通した。

加古川の地にたどり着いたのは50歳のころ。ここを布教の地とし亡くなるまで居座った。布教のかたわら、荷物運びや農耕の手伝い、灌漑用の溜め池を作り「阿弥陀丸」とも「荷送り上人」とも呼ばれた。この地で妻を娶(めと)り、こどもも一人生まれている。

教信が亡くなったのは貞観8(866)年、妻子への遺言があった。「自分は生前、生き物を食べてきた。せめて死んだあとの体は鳥獣に供養したい」というのがその内容。

残された妻子は遺言どおり遺体を裏の林に捨てた。その結果、体は鳥獣に食われたが、首から上は無傷で、顔はほほえんでいるようだったという。「日本往生極楽記」に、そのことが説話として書かれている。

教信の草庵の跡に建てられたのが教信寺。教信の遺徳を今に伝える沙弥教信上人頭像(県指定文化財)が教信寺開山堂の本尊となっている。

後の世に称名念仏(“南無阿弥陀仏”)のように仏の名号を唱える行)を広めた浄土真宗宗祖・親鸞や、時宗の開祖・一遍も教信を「二人となき師」と称賛したといわれている。

(主な参考文献=神戸新聞社・編「播磨ゆかりの50人」神戸新聞総合出版センター)

会長 鹿間行雄 幹事 岡本崇司 クラブ会報委員長 菊地敬子

例会日時 毎週水曜日 12:30 例会場 高砂商工会議所会議室(2F)

事務局 高砂商工会議所内 〒676-0064 高砂市高砂町北本町1104 電話 (079) 443-0500(代)